

# People-centered: 人々の共有価値を軸に、社会を共創する

## データによる価値の可視化と共有

- 「加点主義」により新たな価値も創出



## 共有価値 (Shared Values) への貢献

- Libraの試み
- 価値 (Shared Values) への貢献がないとデータ活用が困難になる



## 所有を高めるだけでなく、Wellbeingを高める豊かさ

- 所有による豊かさの限界  
スティグリッツ GDPの限界
- 「生きる」とは何かの問い  
『君たちはどう生きるか』
- 経済主導社会から価値主導社会へ  
「アント・フォレスト」



## システムの合理性に捧げる労働から、多様な生きるを支えるためのシステム

- 『ROMA』の事例
- これらの経済は人を軸に動く



## 持続可能な価値

- SDGs
- 「サーキュラー・エコノミー (循環経済)、ディープテック」



*The Greatest Happiness of The Greatest Number*  
最大多数の最大幸福から



*The Greatest Happiness with Diversity and Inclusion*  
最大“多様”の最大幸福へ

統治者発想

→生活者発想

独占資本発想

→データ共有発想

短期収益至上主義

→持続可能な社会

# 河野太郎氏 「子どもデータベース」検討 虐待や貧困共有

坂本純也 2020年11月24日 14時00分

河野太郎 行政改革 相は24日の閣議後会見で、子どもの貧困や 児童虐待 の問題を念頭に自治体など関係行政機関が共有してみられる子どもデータベースを全国規模でつくる検討をしていることを明らかにした。12月に 閣議決定 を予定する第3次 補正予算案 に調査費を計上できないか、調整しているという。

河野氏も参加した今月の「行政事業レビュー」では子どもの貧困問題が取り上げられ、データベースを独自に作成する 東京都足立区 や 大阪府箕面市 の事例が紹介された。ただ、区市外に転居した場合には情報を転出先の行政機関に渡して支援に役立ててもらうことが 個人情報保護 などの問題で現時点ではできないとの課題が報告されたという。



河野氏は閣議後会見で「データベースを全国的に広げて、子どもたちがどこへ引っ越してもきちんとフォローできるようにすべきではないか」と意見があった」と指摘。  
坂本哲志 少子化対策 担当相とも相談しているという。（坂本純也）

# 政府、子どもデータベース構築へ 貧困や虐待、情報一元化

11/23(火) 21:01 配信 2085



データを活用した子どもの貧困・虐待対策のイメージ

政府が子どもの貧困、虐待を防ぐため、家庭の経済状況や子どもの学力といった幅広い情報を一元化するデータベース（DB）を構築する方針を固めたことが23日、分かった。困難を抱える子どもを早期に見つけ出し、支援につなげる狙い。月内にも関係副大臣会合を設置する。自治体の部署間での情報共有が壁となっており、データベースで扱う個人情報に関する指針も作成する。早ければ2023年度の全国展開を目指す。

【イメージ図】 こども庁閣僚に「勧告権」与える方針

岸田政権が推進するデジタル改革の一環。デジタル庁を中心に関係省庁の副大臣らで議論を進める。

新型コロナウイルスの影響で、子どもの貧困や虐待が深刻化しているとの指摘がある。

# Data Free Flow with Trust の必要性

## VALUE CO-CREATION SOCIETY(価値共創社会) への移行の背景

「Society 5.0」データ駆動社会では自由なデータ資源である。

次世代の社会システムの方向性として【資本主義主導型】【基本権主導型】【権威主義主導型】の

3つがあるが、それぞれに強み弱みがある。

### 資本主義主導

合理的な企業活動によるイノベーションと「GAFA」の隆盛。



しかし、データ覇権主義への警戒。

### 基本権主導

GDPR・データポータビリティにより、国や企業に提供した個人データを市民がコントロールできるように。



しかし、データについても所有財としての側面が強く、結果として個人のコントロール権が強すぎる。

### 権威主義主導

社会信用システム「信用中国」で、価値そのものの共有が広がる。



しかしトップダウンで一元的。監視社会のおそれ。

## 21世紀の新しい基本的人権

# 1人ひとりを軸にしたオープンなデータ活用、データアクセス権の確立

The image shows a close-up of the European Union flag, featuring a blue field with twelve gold stars arranged in a circle. The flag is slightly wrinkled and appears to be waving.

The EU General Data Protection Regulation (GDPR) is the most important change in data privacy regulation in 20 years - we're here to make sure you're prepared.

After four years of preparation and debate the GDPR was finally approved by the EU Parliament on **14 April 2016**. Enforcement date: **25 May 2018** - at which time those organizations in non-compliance may face heavy fines.

The EU General Data Protection Regulation (GDPR) replaces the Data Protection Directive 95/46/EC and was designed to harmonize data privacy laws across Europe, to protect and empower all EU citizens data privacy and to reshape the way organizations across the region approach data privacy. The key articles of the GDPR, as well as information on its business impact, can be found throughout this site.